



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2015年12月号 No.362

小鳥の森で観察してみよう 51

キンクロハジロ

分類：カモ科

大きさ：40-47cm

生態：秋から春にかけて日本の河川や湖沼、海に飛来してくる冬鳥です。食性は雑食で、水生植物、昆虫、甲殻類、軟体動物、魚類やその卵、カエルなどを水の中にもぐってつかまえます。

小鳥の森での観察：

小鳥の森に隣接する阿武隈川の親水公園で見ることができます。時々五本松沼に来ることがあります。



目の色は黄色です。

頭の後ろにかざり羽があります。

おなかは白く、水面に浮いていると白と黒がとても目立ちます。

こがおうすけ

今回の絵は、こがおうすけくんが描いてくれました。



12月の自然予報



12月に入ると、市内から遠くに見える吾妻小富士に雪が積もり始めます。市内でも最低気温が0度近くまで下がり、地面に氷が張るのを見かけるようになります。このような時期になると、マヒワやアトリ、キクイタダキなどを園内で見かけるようになります。毎年飛来してくる数は多かったり、少なかったりと変化はありますが、観察しやすい時期になると思います。マヒワやアトリはオオバヤシャブシの実を園内でよく食べているので、実がある場所から少し離れた所に来るのを待つ、「待ち伏せ観察」が見るための良い手段かもしれません。

樹木が葉を落とすと、生き物の痕跡が見つけやすくなります。例えば木の枝にぶら下がっている緑色や白、あみ目状のガの「まゆ」などです。大きなガのウスタビガやヤママユ、クスサンなどは秋に成虫になり、まゆを残していきます。散策途中でまゆがぶら下がっていたら、どのような色や形をしているのかじっくり見てはいかがでしょうか。



マヒワ



アトリ



ウスタビガ



ヤママユ



クスサン



11月の自然



冬鳥が次々と飛来してきました。

園内に隣接している五本松沼では、水辺の野鳥が多く見られました。

キンクロハジロやカルガモ、マガモ、コガモなどが水面や岸辺などで休んでいる姿をゆっくりと見る事が出来ました。冬を小鳥の森周辺で過ごすものや、渡りの途中で立ち寄ったものなどがあるので、日によって数に変動がみられました。

また池の周辺ではジョウビタキやツグミなども見る事が出来、冬の野鳥でにぎわってきている感じがしました。



キンクロハジロ



コガモ

ネイチャーセンター周辺でニホンリスをよく見かけました。11月上旬は親子で姿を見る機会が多くありましたが、中旬になると親離れした子供のリスをひんぱんに見ました。

小鳥の森でこれから来る冬を乗り切れるよう、温かく見守っていきたいと思いました。



左：母親、右：子供



キノコを食べています

小鳥の森スタッフだより

「かるたをする野鳥」

今年10月29日に冬に見られるツグミが園内に飛来しました。食べるものは木の実やムシなど雑食性の野鳥です。

この野鳥のエサを探すしぐさには特徴があります。地面に降りて落ち葉をパサッ、パサッと散らしてエサとなるムシを探す姿が、まるで「かるた」をしている様なので、昔は「かるたどり」という名で言われていた地域があるそうです。これはツグミ以外にも、同じ仲間のシロハラやアカハラ、トラツグミなども同様に呼ばれていたそうです。

身近にいる野鳥に特徴的な行動がないかよく観察すると、新たな発見があるかもしれません。
(レンジャー 細井 俊宏)



ツグミ

お山の大将あつまれ活動報告

11月15日に「クリスマスに向けて」の活動をしました。子供たちは木の枝やドングリなどを使って手作りのツリーを一生懸命作っていました。いつもの工作活動よりももくもくと夢中になっていたようです。完成したツリーを笑顔で持ち帰っていました。来月のクリスマスには手作りツリーを自宅で飾って楽しんでもらえたと思いました。



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。

詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

※小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森 (ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日 (祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇 98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f.kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信「しじゅうから」2015年12月号No.362/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま